

「楽しく働く」
「元気に遊ぶ」
「豊かに暮らす」
「長く支える」

平成28年度事業案内

「地域に必要とされる社会福祉法人を目指して」

本年4月に障害者差別解消法が施行されました。また、3年前にスタートした障害者総合支援法、付帯決議を含め3年後の見直し法も4月から施行となりました。

国際権利条約の批准により、約束された障害者の権利を守るため、地域社会での差別をなくし、合理的な配慮が行政機関はじめ、様々な所で求められることになり、一層障害者に対する権利擁護への関心が深まるものと思います。

また、サービス提供事業者としての立場から、大きな影響を受ける法律が昨年4月に国会に提出され、「社会福祉法の一部改正法案」として今通常国会で成立、そのうち一部が今年4月施行され、平成29年4月に全面施行されることになりました。

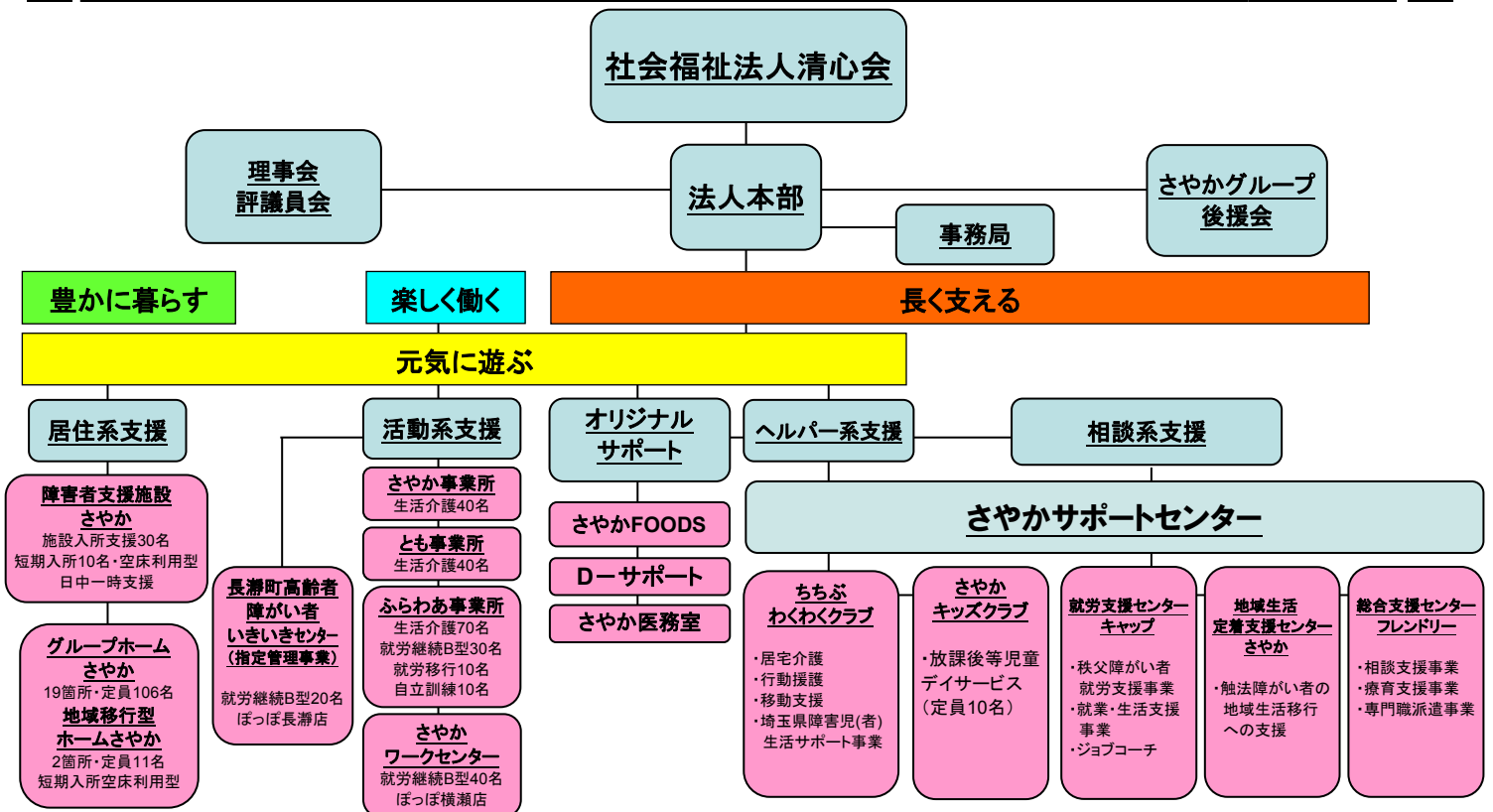
すでに法案の中身について、当該関係団体の間では周知されていますが、福祉サービスの供給体制の整備と充実を図ることを目的とされ、一つは、社会福祉法人制度の改革、もう一つは、ここ数年来深刻化している福祉人材不足に着目した福祉人材の確保の促進となっています。

どちらも深刻且つ至近な課題であり、とりわけ、社会福祉法人が地域社会から信頼に値する1、経営組織のガバナンスの強化、2、事業運営の透明性向上、3、財務規律の強化、4、地域における公益的な取り組み実施の責務、等の改革期限まで1年を切っており、当法人においても早急な対応に迫られています。

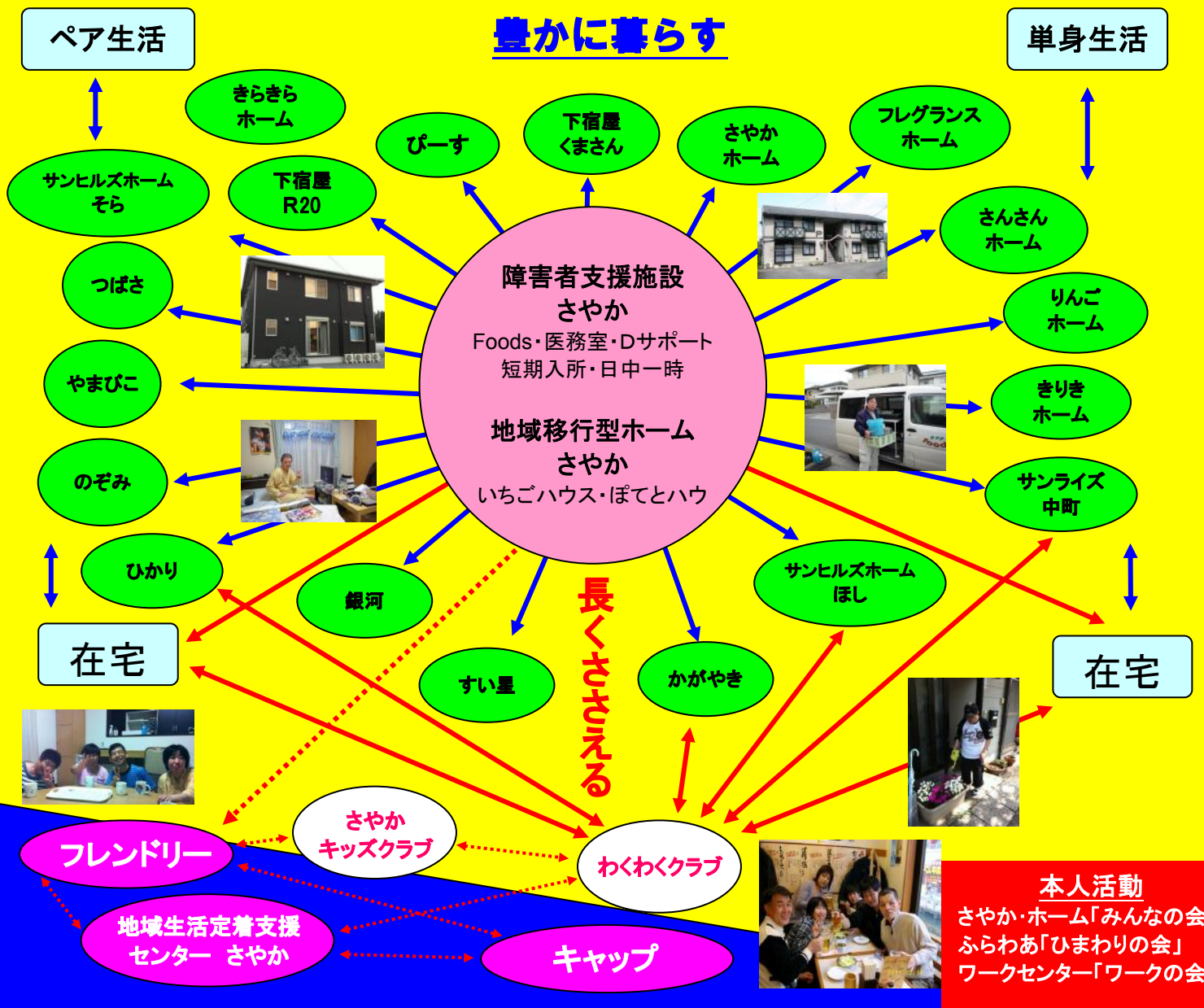
平成28年度、新たにさやかグループの仲間入りした利用者、職員を迎えて、役員、職員ともども充実した事業運営に全力で取り組んで参ります。

引き続きご支援ご協力お願い申し上げます。

平成28年4月 社会福祉法人清心会 理事長 新井兄三郎



豊かに暮らす



キーワードは「地域の中で」

豊かに暮らす

①入所施設の考え方 ～ 入所施設からホームへ 全ての入所者の地域移行を目指します ～
 施設入所支援：定員30名+短期入所10名(併設型・空床利用型)入所施設の一部を地域移行型ホームとし、地域移行を活性化します。
 長期入所利用者中心から短期入所利用者中心の施設へ。緊急対応時の役割としての施設機能は維持していきます。

②グループホームの考え方 ～ 地域に根差した、地域に溶け込んだホームであるために ～
 地域行事への積極参加、地域の社会資源を積極的に活用します。
 ホーム生活から先の暮らしの選択肢は十人十色で良いと考えます。その人が希望する暮らしを全面的に応援します。
 例)ずっと今のホームで暮らしたい。今より新しいホームで暮らしたい。仲のよい人と同じホームで暮らしたい。実家に戻りたい。
 ホームを出て、単身で暮らしたい。好きな人と暮らしたい。etc... 障がい程度、目標に合わせた居住ホームを設定します。

③ささえる支援との連携について
 近年、居住系サービスの地域化に伴い、以前にも増してささえる支援との連携強化の必要性が高まっています。特に総合支援のフレンドリー・就労支援のキャップ・ヘルパー系支援のわくわくクラブなどの連携は不可欠です。また、短期入所・日中一時支援等、「くらす」部門の中に支える機能が入り、その密接さを物語っています。

長くささえる

①相談支援機関 フレンドリー・キャップ・定着支援センターさやか
 当法人では、国・県・市町の委託を受け、「総合生活相談のフレンドリー」「就労相談のキャップ」「定着支援相談のさやか」を運営しております。様々な相談をお受けして、必要に応じ関係機関と連携をとりながら、迅速な問題・課題解決に努めております。

②ささえるサービス
 相談支援機関と同じく、地域生活を支えるために直接支援サービスは不可欠です。現在、当法人では、短期入所・日中一時支援・居宅介護・行動援護・移動支援・配食サービス等を実施しております。これらのサービスの需要は年々増加しています。

③本人活動支援 日中活動系・居住系のサービスの中に本人の会を作り、本人主体の生活・活動が営めるよう支援します。

日中活動の場 (さやか・ふらわあ・とも・さやかワークセンター・ ぼっぼ長瀬・さやかキッズクラブ)

元気に遊ぶ
いきいき活動

クラブ活動(陶芸・スポーツ・郷土芸能・札所めぐり・書道教室・アート教室) 映画鑑賞会
休日レク・ミニコンサート(毎月1回・日曜日) ダンス教室(毎週木曜日・夜間)

生活介護
もも組・かえて(さやか)
落ち着いた環境の中で
ゆとりのある活動を行います。
デイサービス要素をふんだんに
取り入れた活動班です。
・ウォーキング・機能訓練
・レクレーション・軽作業
・お花教室・お茶教室

生活介護
とも・ざんなん(とも)
日常生活支援と余暇活動に
力点を置き、出来る事、楽しい事
を一つでも増やせるよう、工夫をし
ながら支援を行っています。
重複障がいの方も多いため。
・ウォーキング・機能訓練
・各種クラブ サークル

放課後等デイサービス
さやかキッズクラブ
基本的な生活習慣(あいさつ・
衛生・整理整頓など)を個々に合
わせて支援し出来ることを増やし
ていきます。月に2回のリトミック
を実施し、集中力や感性を養う
支援を行います。



生活介護
あぐり(さやか)
活発な利用者が多く、屋外での活動を中心
に行っています。
重度の方が多い活動班ですが、様々な工夫をし
ながら活動に集中できる環境を作っています。
・聖地公園、清雲寺墓地清掃
・羊山公園清掃業務・腐葉土作り
・ウォーキング・レクレーション

生活介護
とらい・エール(ふらわあ)
仕事への意識を持ちながらも、レクレ
ーション的な活動を取り入れ、メリハリの
ある支援を行ないます。
・張り作業 ・祭り製品の製造
・請負作業
・奉仕作業を兼ねたウォーキング
・聖地公園、清雲寺墓地清掃

生活介護
ちゃんす・さくら(ふらわあ)
一人ひとりの個性を大切にし、
メンタルケアに重点を置きつつ、
様々な可能性を広げられるよう
楽しく支援を行なっています。
・ウォーキング・各種クラブ
・ぼかし、石鯨、手芸品作り
・食堂清掃、環境整備

就労継続B型
外部作業【施設外就労】・フーズ(ふらわあ)
一般企業の中で作業を行う事で、仕事に対する責任感・緊
張感・やりがいを感じ、意欲向上に繋がるよう支援を行いま
す。
挨拶や時間厳守など社会的マナーを習得します。
公共交通機関の利用を促進し、自主通勤を目指します。
また、必要な知識・マナーを支援します。
企業の就業時間に耐える体力精神力を身につけます。
・浅井建築設計事務所 ・さやか
・皆野町役場、横瀬町役場
活動系事業所の昼食に提供するカレーライスと、外部販売
用のカレー弁当を毎日製造しています。女性利用者を中心
に、より質の高い美味しいカレーライス作りに励んでおり
ます。就労継続A型を目指している活動班です。

就労継続B型
ぼっぼ横瀬店(ワークセンター)・ぼっぼ長瀬店
パン・ラスクの製造に積極的にに関わり、働く意識が継続でき
るよう支援します。
挨拶・社会的マナー等を習得します。
働いた対価としてより多くの工賃が還元できるよう売れる商品作
りに努めます。

就労移行支援 (ふらわあ)
2年間の有期限の中で、必要なスキルを身につけ、企業就労を
実現する事を目標とします。
企業実習等もこまめに取り入れ、より企業に近い雰囲気の中で
トレーニングを行います。

就労継続B型 AAO【安全・安心・おいしい】農園(ふらわあ)
①農業を通じたソーシャルファーム、地域の方たちとの連携・協働を目指します。
②障がい程度・種別の垣根を越え、それぞれの能力に適した作業を提供します。
③生産した農作物は、法人給食やぼっぼでの二次加工品として利用していきます。
④二次加工品は借金なし大豆を使用した「味噌」と、農園で生産した野菜等を使用した「キムチ・漬物」を中心に生産します。

自立訓練 (ふらわあ)
特別支援学校の卒業生や、若年
の方で、就労系サービス・企業就労を
目指す方たちが利用しています。
2年間という有期限の中で、社会で
通用する体力・精神力・一般常識を
養っていきます。

楽しく働く



一人ひとりの笑顔のために・・・



さやかグループ利用登録者数

居住系	男性	女性	合計
さやか	6	7	13
GHさやか	58	38	96
移行型さやか	5	2	7
合計	69	47	116

活動系	男性	女性	合計
さやか生活	33	14	47
ふらわあ生活	44	21	65
ふらわあ就B	21	6	27
ふらわあ移行	4	1	5
ふらわあ自立	6	2	8
ワークC就B	11	6	17
とも生活	25	17	42
長瀬ぽっぽ就B	3	8	11
合計	147	75	222

さやかグループ職員数

内訳	男性	女性	合計
正規	41	44	85
契約(社保加入)	16	40	56
契約(社保未加入)	15	82	97
派遣・シルバー	0	7	7
合計	72	173	245

さやかサポートセンター登録者	男性	女性	合計
わくわく	143	85	228
フレンドリー	195	119	314
キャップ	235	135	370
さやかキッズクラブ	8	1	9
合計	581	340	921

平成28年4月1日現在

